

連携提案: グローバルな視座をもったローカルな社会科地理教育の教材・授業開発

キーワード 社会科教育、地理教育、教材開発、授業開発、ESD、グローバルな課題解決

人文・社会教育 学系 教授

志村 喬 SHIMURA Takashi

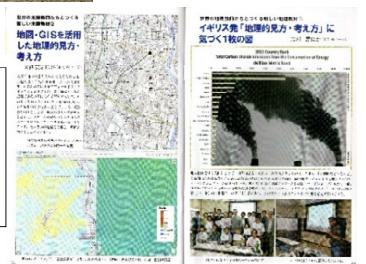
連携提案内容と効果

社会科教育、とりわけ地理教育は様々な社会事象を自然と人間社会との関係性という環境次元と、身近な地域から地球規模まで変化する地表面の様々な空間次元で、総合的に捉え解決するための基本的な力を育成します。地域振興といったローカルな課題、地球温暖化といったグローバルな課題が山積する現在、このような力は学校教育だけでなく、社会教育においても必要です。そこで、社会科・地理教育研究成果を活用して、グローバルな視座をもとにローカルな課題を認識し解決を図るための知見を提供します。



←干上がったアラル海調査時（2016年）の写真：「アラル海周辺の学校を訪ねる」月刊「地理」62(4)に報告を掲載

アメリカ合衆国の地理教育研究者と共催した教員が協働して教材を創る合宿研究会（2016年）の報告—月刊「地理」62(7)掲載



↑開発教材「商業と生活：ショッピングセンターと地域社会」商業環境変化・買い物弱者問題を身近な地域を通して学びます



ESD 関連の執筆例
左：『科学』（岩波）特集「これからの地理教育：持続可能な社会づくりのための教科へ」
右：『教科教育におけるESDの実践と課題』

アピールポイント

社会科・地理教育について学校教師経験を基盤に、理論と実践の双方から研究しています。地理の特性を活かし、ローカル次元でもグローバル次元でも現地に立って考えることを重視し、アメリカ、イギリス、カザフスタン等の研究者とも共同研究を進めてきました。

連携したい分野

社会科・地理教育の改善を目指す学校及び研修・研究団体。社会教育における社会科・地理を扱う組織や団体。地域調査・認識をもとにした地域計画・振興にかかわる組織や団体

研究テーマ：地理を中核とした社会系教育（教員養成教育を含む）の国際比較研究



プロフィール	専門分野	社会科教育学・地理教育学
1961年新潟県生まれ。1985年より新潟県公立高校教諭(社会科)。2002年より上越教育大学にて社会科教育学(地理教育学)を担当。上越市史現代史部会編集委員、上越市総合計画審議会委員などを経験	主な研究内容	地理教育研究、社会系教科の国際比較研究、社会系教材のカリキュラム開発と授業開発、持続可能な開発のための教育(ESD)研究、防災・復興教育研究、空間・環境認知と地図学習の改善研究
関連URL	https://www.uen.ac.jp/shakai/shimura/index.html	

関連する業績等

中平一義・茨木智志・志村喬編著『初等社会科教育研究』風間書房、2019年／学校教育で「持続可能な社会づくり」を実現する教員養成のあり方—地理教員養成・研修をめぐる国際動向—、科学(岩波書店)、88(2), pp. 166-170、2018年／「地理総合」と社会科教育」、所収：碓井照子編『「地理総合」ではじまる地理教育：持続可能な社会づくりをめざして』古今書院、2018年／教科教育としてのESD授業開発の手法、所収：井田仁康編『教科教育におけるESDの実践と課題—地理・歴史・公民・社会科—』古今書院、2017年／世界の地理教師たちとつくる新しい地理教材(シリーズ連載企画・総括)、地理(古今書院)、62(2)-62(12)、2017年／帝国書院(検定済教科書)『社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土』(共著)2016年／東京書籍(検定済教科書)『新編 新しい地図帳』(共編)2015年、

お問い合わせは、 志村 研究室 shimura@uen.ac.jp